

# 使ってみよう(2) ~クラウド・トランスファー~

本紙は、N-TRANSFER(以降、本製品)にUSB機器を接続して、クラウドトランスファー(データのアップロード)を利用するための手順について説明しています。

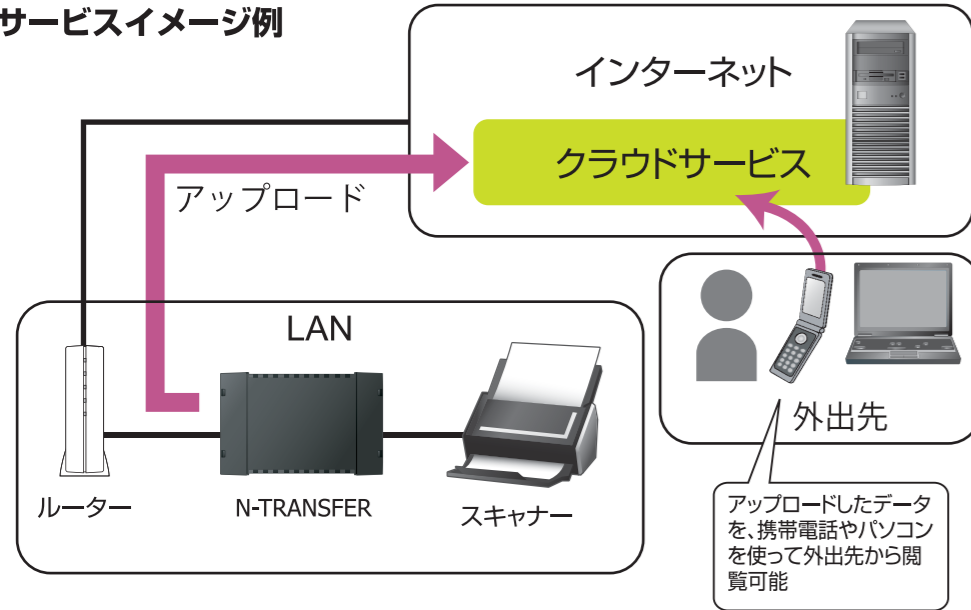
## 1. クラウド・トランスファーとは?

パソコンを使わずに、本製品に接続したUSB機器(スキャナーやUSBメモリーなど)から書類や画像データを、インターネット上のクラウドサービスへ直接アップロードができます。アップロードしたデータは、携帯電話やパソコンなどからいつでも閲覧することができます。

【対応クラウドサービス】(平成23年2月現在)  
・Evernote

※対応するクラウドサービスは順次追加する予定です。  
最新情報は、マイページにてご確認くださいませ。  
※クラウドサービスのアカウント情報が必要です。

### ■サービスイメージ例



### ■主な利用方法

本やリーフレットなどの紙面をスキャンしたデータや、デジタルカメラで撮った写真をクラウドサービスに保存しておくことで、携帯電話やパソコンなどいつでも閲覧できます。

- ・新聞や雑誌の記事を外出先や移動中でも確認することができます。
- ・旅行ガイドブックの地図や紹介記事を旅先でも確認することができます。
- ・料理のレシピや必要な材料を買い物中でも確認することができます。
- ・デジタルカメラで撮影した写真をみんなで見るすることができます。

## 2. 注意事項

- ・データのアップロード中(LINK LEDが赤色点灯)に、本製品に挿したユーザーメモリーやUSBメモリー、記録メディアを抜いたり、本製品の電源を切ったりすると、ユーザーメモリーやUSBメモリー、記録メディアに保存されているデータが破損して認識しなくなるおそれがあります。それらのUSB機器を取り外したり、電源を切ったりするときは、データのアップロードが完了したことを確認してから行ってください。
- また、静電気や電磁的ノイズの影響を受けたとき、あるいは天災による被害を受けたときについても同様にデータが破損して認識できなくなるおそれがありますのでご注意ください。
- ユーザーメモリーやUSBメモリー、記録メディア内のデータが消失、破棄された場合、弊社はその責任を負いかねますのでご注意ください。
- ・他者に著作権のあるデータを、著作者に無断で第三者に提供することは法律で禁じられています。ご利用になるクラウドサービスの利用規約を遵守してお使いください。

## 3. 接続して利用できるUSB機器

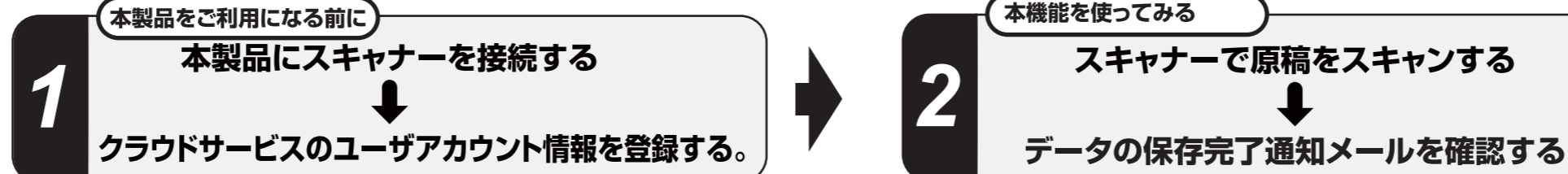
本製品は、下記のUSB機器を接続してクラウドトランスファーを利用することができます。

- ・スキャナー
- ・デジタルカメラ  
(パソコンとUSBケーブルで接続した際に、リムーバブルメディアとして認識できるもののみ)
- ・複合機(MFP)
- ・メディアカードリーダー  
(SDメモリーカードやCFカードなど、送信したいファイルが保存されたメディアカードが必要)
- ・USBメモリー

※最新のUSB機器の対応機種については、マイページを参照してください。  
(トップページ→ヘルプメニュー→対応機器情報)

## 4. 本製品をご利用いただくための手順

以降の操作説明では、携帯電話とスキャナーを利用してEvernoteにデータをアップロードする場合の操作方法を説明しています。本製品をご利用になるには準備が必要です。「本製品をご利用になる前に」を行ってから「本機能を使ってみる」の手順でご利用ください。



※パソコンを使用してクラウドトランスファーを利用する場合は、付属のCD-ROMに収録されている本製品の取扱説明書を参照してください。

## 5. 本製品をご利用になる前に

本製品・本機能をはじめてご利用になる場合や設定を変更する場合は、以下の準備が必要になります。以下の手順を参考に、ご利用になる前の準備を行ってください。

- 1 本製品にスキャナーを接続します。  
スキャナーを本製品の右側(▲印)のUSBポートに接続して、スキャナーの電源を入れます。
- 2 利用するクラウドサービスを設定するため、マイページにアクセスします。  
本製品のQRコードを、携帯電話のバーコードリーダーを使って読み取ります。読み取ったQRコードに記載されているアドレスにアクセスしてマイページを表示します。

### ■マイページにEvernoteが表示されていないときは…

初期設定では、DATA TRANSFER が選択されています。マイページの「サービス一覧」にEvernoteが表示されていないときは、[設定メニュー]→[利用サービスの管理]から「Evernote」を選択して追加してください。



### ■Evernoteに使用するUSB機器が表示されていないときは…

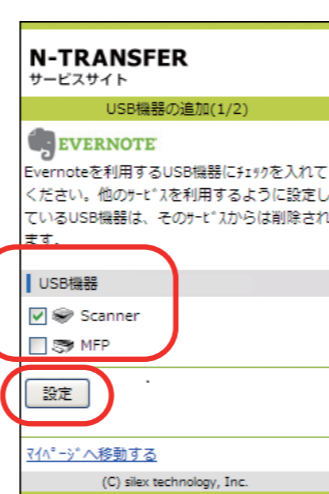
手順①で本製品に接続したスキャナーが「使用するUSB機器」に表示されていないときは、USB機器の追加をします。

- (1) マイページのサービス一覧から新たに利用するクラウドサービスの[USB機器の追加]を押します。



- (2) 手順①で本製品に接続したスキャナーがUSB機器の一覧に表示されます。スキャナーのチェックボックスにチェックを入れて、[設定]を押します。

設定完了ページが表示されたら、[マイページに移動する]を押します。



### Evernoteをご利用になるお客様は、別紙「EVERNOTEをご利用になるお客様へのお知らせ」もご覧ください。

- 3 利用するクラウドサービスのアカウント情報を設定します。  
マイページのサービス一覧から利用するクラウドサービスの[サービス設定]を押します。

- (1) 利用するクラウドサービスにアクセスするための「ユーザーID」と「パスワード」、[アップロードする画像形式]を入力して、[次へ]を押します。

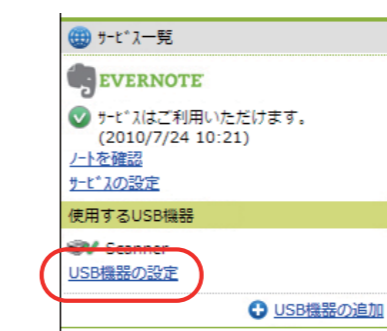
※こちらで入力する「ユーザーID」と「パスワード」は、利用するクラウドサービスのアカウント情報を登録する際に設定した「ユーザーID」と「パスワード」となります。  
(N-TRANSFERのマイページにアクセスする際に入力する「ユーザーID」と「パスワード」とは異なりますので、ご注意ください。)

※「アップロード結果をメールで通知する」のチェックを外すと、クラウドサービスにファイルが保存されたときに届く「クラウドサービスへのファイル保存完了を通知するメール」が送信されなくなります。

- (2) 表示されたページで登録内容を確認して、[設定]を押します。  
設定の更新完了ページが表示されたら、[マイページへ移動する]を押します。

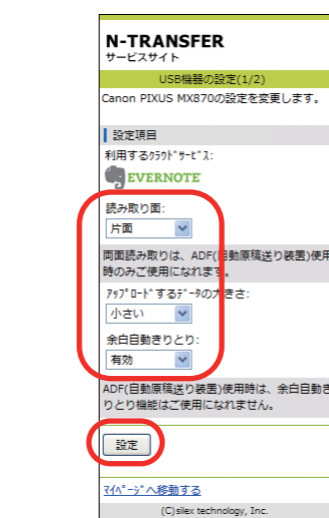
- 4 利用するスキャナーの設定をします。  
スキャナーの設定を変更しない場合は、本手順の操作は不要です。

- (1) 利用するクラウドサービスのサービスを利用する機器で、使用するスキャナーの[USB機器の設定]を押します。



- (2) スキャナーの設定を変更して、[設定]を押します。  
設定の更新完了ページが表示されたら、[マイページに移動する]を押します。

※右記のページは、ADF(自動原稿送り装置)搭載で両面読み取り対応のスキャナーを接続しているときに表示されるページです。  
接続しているスキャナーが、ADF非搭載機の場合やADF搭載で両面読み取り未対応機の場合は、「読み取り面」は表示されません。



以上で、ご利用前の準備は完了です。

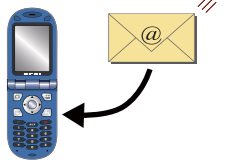
## 6. 本機能を使ってみる

携帯電話とスキャナーを使用したクラウドトランスファーの使い方の手順を説明します。

- 1 スキャナーに原稿をセットして、スキャナーの「読み取り開始」ボタンを押します。  
※スキャナーの操作方法については、各製品の取扱説明書を参照してください。



- 2 スキャンしたデータがクラウドサービスにアップロードされます。データがクラウドサービスにアップロードされると、携帯電話にデータのアップロード完了を通知するメールが届きます。



※設定により、データのアップロード完了通知メールを送らないようにすることもできます。  
※本製品のLINK LEDが赤色で点灯しているときはアップロード中です。本製品からスキャナーのケーブルを抜かないでください。

- 3 受信したメールで正常にアップロードされたことを確認した後、スキャナーから原稿を取り除きます。

## 7. アップロードしたデータを閲覧する

クラウドサービスにアップロードしたデータは、以下の方法で携帯電話やパソコンからいつでも閲覧することができます。

### ■マイページから閲覧する

- (1) マイページの「サービス一覧」から、利用したクラウドサービスの[ノートを確認]を押します。



- (2) アカウント情報の確認画面が表示されますので、[ログイン]を押してクラウドサービスにアクセスします。



### ■直接クラウドサービスのサイトにアクセスして閲覧する

携帯電話やパソコンのブラウザからクラウドサービスのサイトにアクセスします。

## 8. Q&A

接続するための設定方法や接続できないときの対処方法、接続するときの注意点などを付属の取扱説明書に記載しています。

### ●取扱説明書の参照方法

本付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、下記のメニュー画面が表示されます。メニューに表示されている「取扱説明書」ボタンをクリックします。

